

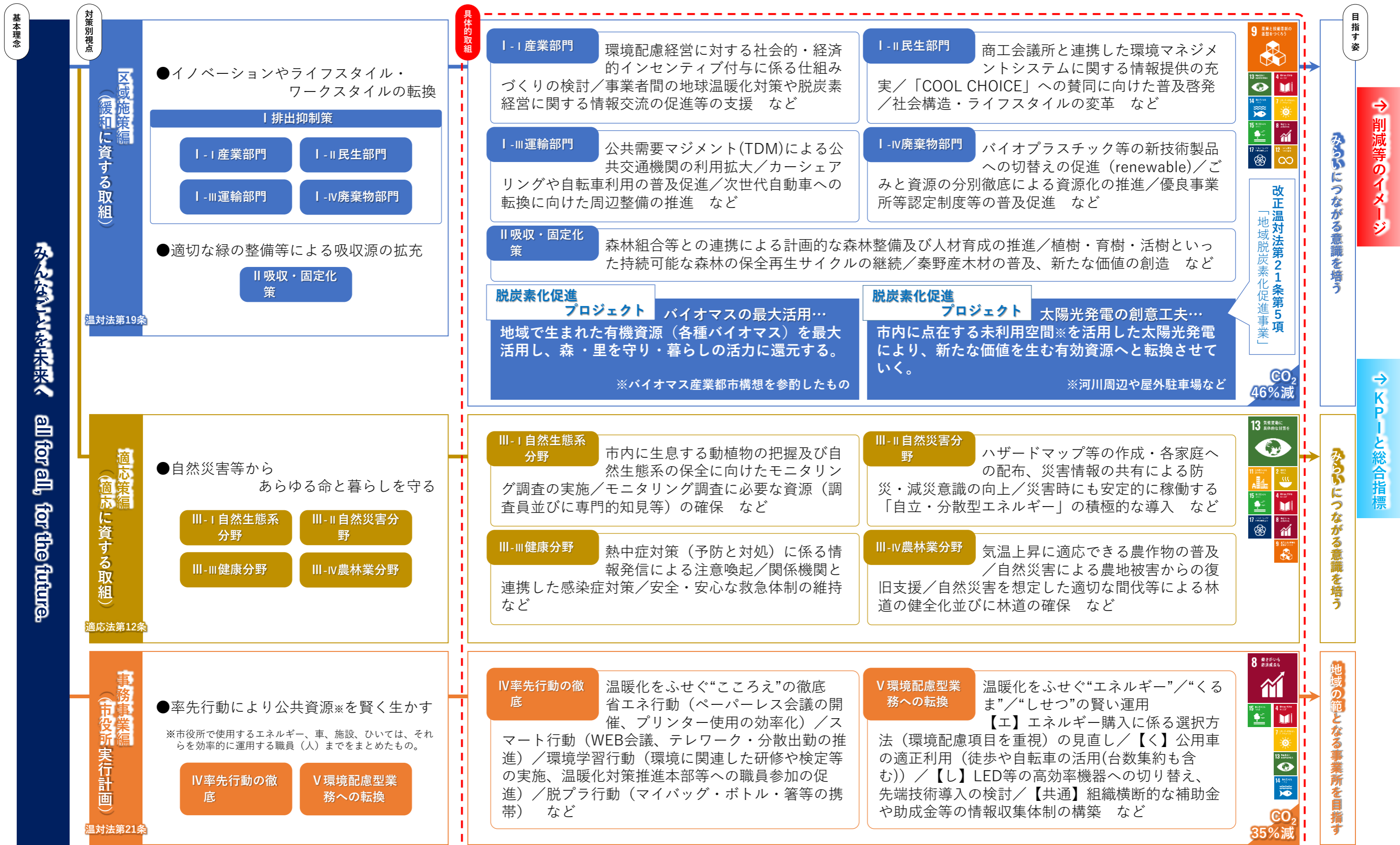
# 秦野市地球温暖化対策実行計画案【施策体系概要】

みんなごとを未来へ  
all for all, for the future.



➤ 秦野市は、森林里山や名水などの誇るべき地域資源、さらには「森・里・川・海」の自然的なつながりをもたらし地域特性を、未来の世代に良好な姿のまま引き継げるよう、二酸化炭素の排出を  
実質ゼロとするカーボンニュートラルを目指す「2050年ゼロカーボンシティ」への挑戦を表明しました。

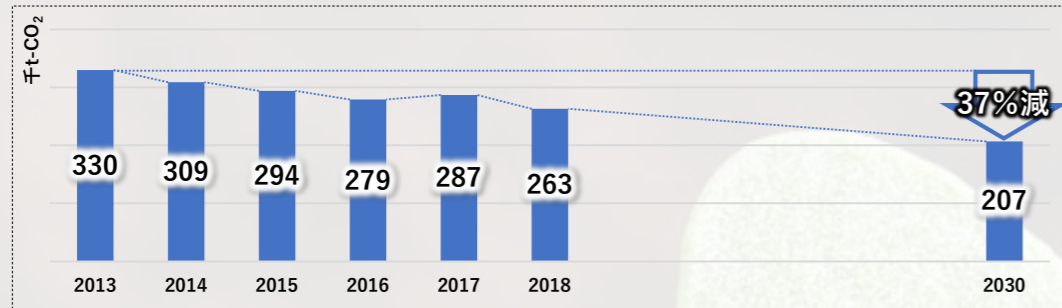
➤ 秦野市全域における二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出抑制「区域施策編(緩和に資する取組)」及び温暖化によって引き起こされる被害を回避し備える「適応策編(適応策に資する取組)」、並びに市役所が市  
域の1事業所として温暖化対策に取り組む「事務事業編(市役所実行計画)」を柱に、社会潮流を見据えた施策体系と適時、柔軟に対応していく推進体制により「足元からの取組」を着実に推進し  
ていきます。



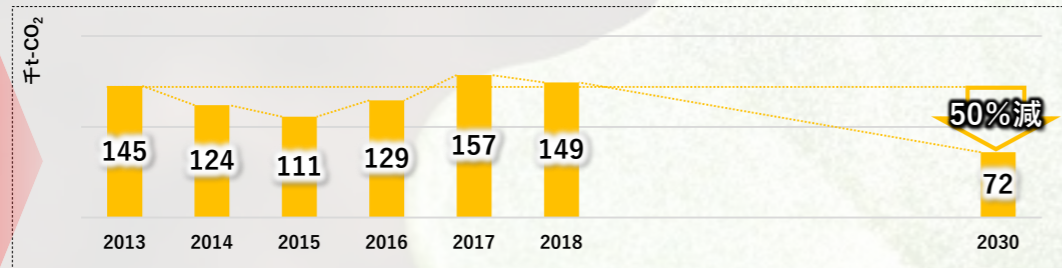
■ 区域施策編における部門別削減量及び吸収・固定化量のイメージ

I 排出抑制策

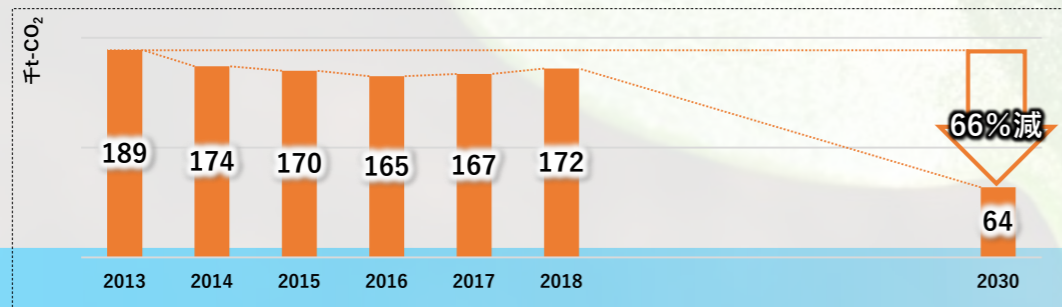
- I 産業部門（第一次及び第二次産業の事業活動から排出される二酸化炭素量）



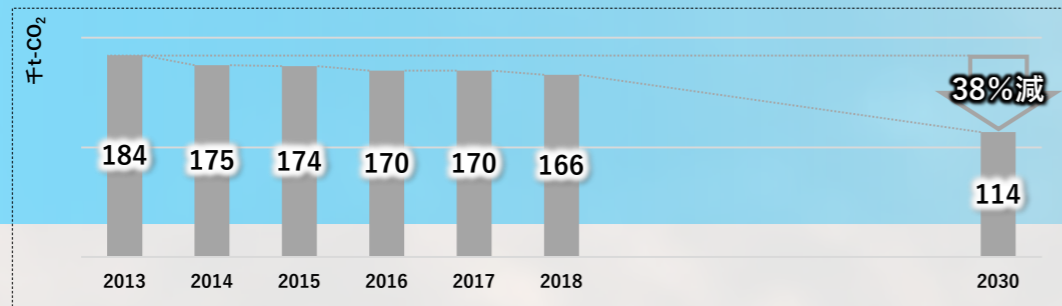
- II A 民生(業務)部門（第三次産業の事業活動から排出される二酸化炭素量）



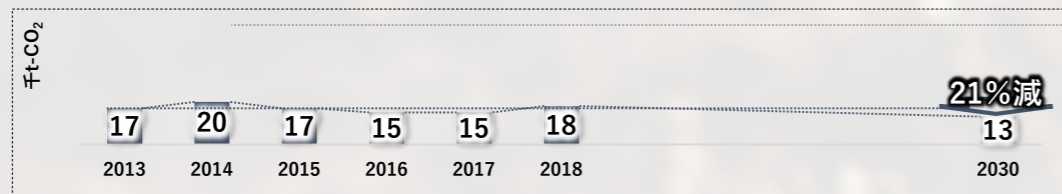
- II B 民生(家庭)部門（一般家庭の経済活動から排出される二酸化炭素量）



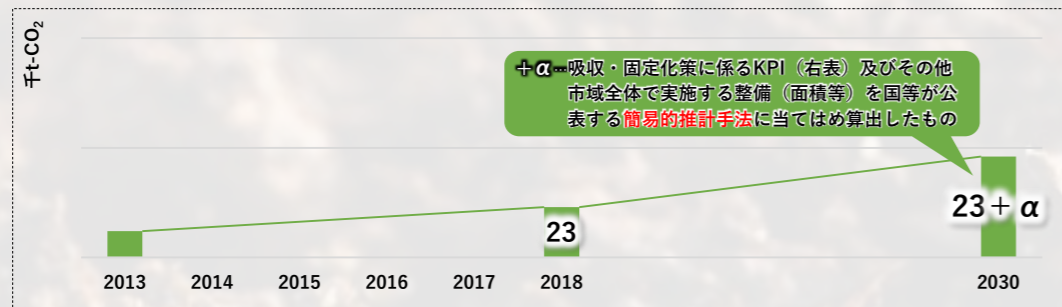
- III 運輸部門（住宅・工場・事業所の外部で人・物の輸送・運搬により排出される二酸化炭素量）



- IV 廃棄物部門（一般廃棄物の焼却や下水処理等により排出される二酸化炭素量）



II 吸収・固定化策



■ 重要業績評価指標(KPI)及び総合指標まとめ

区域施策編	基準値	目標値		
	2020年度	2025年度	2030年度	
<b>I 排出抑制策『イノベーションやライフスタイル・ワークスタイルの転換』</b>				
KPI	【I-I 産業部門】 脱炭素イノベーションに係る「産・学・金・公」連携事業数	-	3事業	1事業
	脱炭素コンソーシアム(仮称)の組織による情報交流及びセミナー等の開催	-	2回/年	4回/年
	【I-II A 民生(業務)部門】 COOL CHOICEに賛同する事業者数	-	460社	920社
	【再掲】脱炭素コンソーシアム(仮称)の組織による情報交流及びセミナー等の開催	-	2回/年	4回/年
	【I-II B 民生(家庭)部門】 環境配慮行動が生活の質を高めたと感じる市民の割合	-	60%	70%
	「はだの環境未来会議(仮称)」におけるゼロカーボンアクションの提案数	-	1提案	2提案
	【I-III 運輸部門】 ノーマイカー通勤・時差出勤を実施した事業所数	30社・団体	30社・団体	30社・団体
	公共交通の利便が高まったと感じる市民及び事業者の割合	-	60%	70%
	【I-IV 廃棄物部門】 ごみの総量に占める資源化量(中間処理後の資源化量を含む)の割合	30.6%	34.7%	35.0%
	市民一人1日当たりの総ごみ排出量	825.5g	804.2g	803.1g
<b>II 吸収・固定化策『適切な緑の整備等による吸収源の拡充』</b>				
森林整備面積(累計/水源の森林エリア(奥山を除く))	15.71ha	125ha	250ha	
秦野産木材の活用量(快適な住まいづくり補助金事業を対象)	41.4m <sup>3</sup>	70m <sup>3</sup>	120m <sup>3</sup>	
指標総合	市域の事業及び経済活動から発生するCO <sub>2</sub> 排出量の削減(2013年度比46%削減)	865千t-CO <sub>2</sub> 【2013年度】	666千t-CO <sub>2</sub> (▲23%)	470千t-CO <sub>2</sub> (▲46%)
<b>適応策編</b>				
<b>III 分野別適応策『自然災害等からあらゆる命と暮らしを守る』</b>				
KPI	【III-I 自然生態系分野】 動植物モニタリング調査(6河川)による指標種数	43種	43種	43種
	【III-II 自然災害分野】 防災講演会等の参加者数	1,550人	4,300人	4,300人
	雨水管きよ整備延長	58,162m	59,988m	60,822m
	【III-III 健康分野】 クールシェルター対象施設数	59か所	64か所	69か所
【III-IV 農林業分野】 気温上昇に適應できる農作物栽培農家数の割合	9.2%	12%	15%	
<b>事務事業編</b>				
<b>IV 行動改善・V 業務改善『率先行動により公共資源を賢く生かす』</b>				
KPI	【IV 率先行動の徹底】 温暖化を理解し「じぶんごと化」している職員の割合	-	70%	80%
	【V 環境配慮型業務への転換】 PPAモデル(自立・分散型エネルギーシステム)の導入件数	-	3件	5件
	低排出係数(0.37kg-CO <sub>2</sub> 以下)電力の導入施設数	(P53参照)	2施設	4施設
	次世代自動車(EV・HV・PHV・FCV)の導入割合	5.3%	10%	20%
	公共施設のLED導入割合	4.9%	48.5%	78.6%
指標総合	市役所の事務及び事業から発生するCO <sub>2</sub> 排出量の削減(2013年度比35%削減)	33,594t-CO <sub>2</sub> 【2013年度】	27,715t-CO <sub>2</sub> (▲17.5%)	21,724t-CO <sub>2</sub> (▲35%)